

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月1日

【四半期会計期間】 第69期第2四半期(自 平成25年6月21日 至 平成25年9月20日)

【会社名】 株式会社ヤマト

【英訳名】 YAMATO CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 新井孝雄

【本店の所在の場所】 群馬県前橋市古市町118番地

【電話番号】 前橋(027)290 1800(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部長 藤原昌幸

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区上野四丁目10番7号 当社東京支店

【電話番号】 東京(03)3832 5391(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員東京支店長 辻信彦

【縦覧に供する場所】 株式会社ヤマト 東京支店
(東京都台東区上野四丁目10番7号)

株式会社ヤマト 埼玉支店
(埼玉県さいたま市北区植竹町一丁目725番地)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第68期	第69期	第68期
		第2四半期 連結累計期間	第2四半期 連結累計期間	第68期
		自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日	自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日	自 平成24年3月21日 至 平成25年3月20日
完成工事高	(千円)	14,868,790	16,220,423	36,147,087
経常利益	(千円)	132,082	135,468	1,020,151
四半期(当期)純利益	(千円)	50,844	59,360	463,702
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	267,062	395,162	960,774
純資産額	(千円)	14,699,323	16,167,915	15,926,128
総資産額	(千円)	22,682,344	23,964,936	25,229,031
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	2.00	2.34	18.25
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	64.8	67.5	63.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,461,711	2,879,175	560,087
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	279,725	641,026	333,885
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	152,350	1,152,437	846,339
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,540,322	2,989,315	1,903,603

回次	会計期間	第68期	第69期
		第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間
		自 平成24年6月21日 至 平成24年9月20日	自 平成25年6月21日 至 平成25年9月20日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	6.93	1.50

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。
2. 完成工事高には、消費税等は含まれていない。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はない。

また、主要な関係会社に異動はない。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はない。

なお、重要事象等は存在していない。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策及び金融政策の効果を背景に、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られ、景気は緩やかな回復基調にあるものの、海外景気の下振れリスク及び円安進行による原材料価格の上昇など国内外の懸念材料を払拭することができず、引き続き不透明感が残る状況で推移した。

建設業界においては、復興関連予算の執行による政府建設投資の増加が下支えとなり、民間設備投資も回復基調を続けている一方で、資材・労務費等のコストアップ要因や企業間競争の激化により、依然として厳しい収益環境が続いた。

このような経営環境のもと、当社及びグループ各社は総力をあげて当社グループの独自の技術・商品を活用した積極的な営業活動、経営の効率化を推進してきた。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注工事高が前年同四半期比6.7%増の228億9千9百万円、完成工事高が前年同四半期比9.1%増の162億2千万円、営業利益が前年同四半期比22.3%増の5千7百万円、経常利益が前年同四半期比2.6%増の1億3千5百万円、四半期純利益が前年同四半期比16.7%増の5千9百万円となった。

なお、当社グループの完成工事高は、通常の営業形態として、上半期に比べ下半期、特に第4四半期連結会計期間に偏る傾向がある。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末比12億6千4百万円(5.0%)減の239億6千4百万円となった。資産の部については、売上債権の回収により、現金預金が10億1千4百万円増加したが、受取手形・完成工事未収入金が35億7千8百万円減少した。

負債の部については、前連結会計年度末比15億5百万円(16.2%)減の77億9千7百万円となった。未成工事受入金が8億9千2百万円増加したが、工事未払金が8億5千万円減少した。

純資産の部については、前連結会計年度末比2億4千1百万円(1.5%)増の161億6千7百万円となった。保有株式等の時価の上昇により、その他有価証券評価差額金が3億3千5百万円増加した。

(3) キャッシュ・フローの分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、28億7千9百万円の増加（前年同四半期比14億1千7百万円の増加）となった。これは主に売上債権の減少及び未成工事受入金の増加によるものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億4千1百万円の減少（前年同四半期比9億2千万円の減少）となった。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは、11億5千2百万円の減少（前年同四半期比10億円の減少）となった。これは主に短期借入金の純増減額の減少によるものである。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度末比10億8千5百万円の増加（前年同四半期比5億5千1百万円の減少）の29億8千9百万円となった。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はない。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費は5千5百万円である。なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はない。

(6) 主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等により、当第2四半期連結累計期間に著しい変動があった設備は、次のとおりである。

（新設）

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの 名称	設備の内容	投資額(千円)	資金調達方法	備考
提出 会社	本社 (群馬県 前橋市)	設備工事業	加工センター 朝倉工場新築	1,145,365	自己資金	平成25年2月着手 平成25年7月完成 生産能力200%増

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月20日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	26,927,652	26,927,652	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	26,927,652	26,927,652		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はない。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はない。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はない。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月20日		26,927,652		5,000,000		4,499,820

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ヤマト社員持株会	群馬県前橋市古市町118番地	1,614	5.99
株式会社群馬銀行	群馬県前橋市元総社町194番地	1,251	4.65
株式会社東和銀行	群馬県前橋市本町2丁目12番6号	1,219	4.53
みどり共栄会	群馬県前橋市古市町118番地	1,008	3.74
株式会社三晃空調	大阪府大阪市北区西天満3丁目13番20号	1,000	3.71
株式会社北越銀行	新潟県長岡市大手通2丁目2番地14	874	3.25
日本興亜損害保険株式会社	東京都千代田区霞ヶ関3丁目7番3号	751	2.79
株式会社横浜銀行	神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目1番1号	594	2.21
東亜産業株式会社	群馬県高崎市問屋町1丁目3番地7	549	2.04
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	497	1.85
計		9,358	34.76

- (注) 1 上記のほか当社所有の自己株式1,526千株(5.67%)がある。
2 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりである。
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 165千株

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,526,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 25,109,000	25,109	
単元未満株式	普通株式 292,652		
発行済株式総数	26,927,652		
総株主の議決権		25,109	

- (注) 1 発行済株式はすべて普通株式である。
2 「完全議決権株式(その他)」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が3,000株(議決権3個)含まれている。
3 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が260株含まれている。

【自己株式等】

平成25年9月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ヤマト	群馬県前橋市古市町 118番地	1,526,000		1,526,000	5.67
計		1,526,000		1,526,000	5.67

2 【役員の状況】

該当事項はない。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載している。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年6月21日から平成25年9月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月21日から平成25年9月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けている。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,302,103	3,316,815
受取手形・完成工事未収入金	² 11,521,980	7,943,092
有価証券	125,318	30,045
未成工事支出金等	³ 1,565,491	³ 1,532,119
その他	649,947	925,910
貸倒引当金	15,629	50,003
流動資産合計	16,149,211	13,697,979
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,599,593	2,070,536
その他(純額)	2,056,323	2,221,654
有形固定資産合計	3,655,916	4,292,191
無形固定資産	103,768	124,556
投資その他の資産		
投資有価証券	4,734,645	5,479,336
その他	590,221	374,929
貸倒引当金	4,731	4,055
投資その他の資産合計	5,320,134	5,850,209
固定資産合計	9,079,819	10,266,957
資産合計	25,229,031	23,964,936
負債の部		
流動負債		
工事未払金	5,114,905	4,264,597
未払法人税等	464,765	41,234
未成工事受入金	367,142	1,259,979
賞与引当金	426,529	330,526
引当金	47,302	34,213
その他	1,603,294	655,475
流動負債合計	8,023,939	6,586,027
固定負債		
退職給付引当金	1,025,662	1,021,554
役員退職慰労引当金	250,571	186,694
その他	2,730	2,745
固定負債合計	1,278,964	1,210,993
負債合計	9,302,903	7,797,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	4,499,820	4,499,820
利益剰余金	6,559,014	6,465,950
自己株式	452,445	453,396
株主資本合計	15,606,389	15,512,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	319,738	655,540
その他の包括利益累計額合計	319,738	655,540
純資産合計	15,926,128	16,167,915
負債純資産合計	25,229,031	23,964,936

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
完成工事高	14,868,790	16,220,423
完成工事原価	14,089,188	15,364,970
完成工事総利益	779,601	855,453
販売費及び一般管理費	² 732,383	² 797,688
営業利益	47,218	57,764
営業外収益		
受取利息	2,817	3,212
受取配当金	54,586	61,096
受取賃貸料	10,156	10,690
その他	34,706	19,020
営業外収益合計	102,266	94,020
営業外費用		
支払利息	8,612	7,390
賃貸費用	5,942	6,057
その他	2,846	2,868
営業外費用合計	17,402	16,317
経常利益	132,082	135,468
特別利益		
固定資産売却益	-	18,002
補助金収入	-	10,000
特別利益合計	-	28,002
特別損失		
固定資産処分損	-	3,269
投資有価証券評価損	8,596	-
投資有価証券売却損	-	10,598
特別損失合計	8,596	13,867
税金等調整前四半期純利益	123,485	149,602
法人税、住民税及び事業税	119,559	27,418
法人税等調整額	46,919	62,823
法人税等合計	72,640	90,242
少数株主損益調整前四半期純利益	50,844	59,360
四半期純利益	50,844	59,360

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	50,844	59,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	317,907	335,802
その他の包括利益合計	317,907	335,802
四半期包括利益	267,062	395,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267,062	395,162

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	123,485	149,602
減価償却費	85,712	93,871
受取利息及び受取配当金	57,403	64,309
支払利息	8,612	7,390
売上債権の増減額(は増加)	2,533,582	3,579,563
たな卸資産の増減額(は増加)	926,935	33,372
仕入債務の増減額(は減少)	926,883	850,308
未成工事受入金の増減額(は減少)	844,538	892,837
その他	254,259	568,447
小計	1,430,450	3,273,573
利息及び配当金の受取額	56,755	63,687
利息の支払額	8,612	7,097
法人税等の支払額	16,881	450,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,461,711	2,879,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	22,905	671,146
投資有価証券の取得による支出	31,245	264,645
その他	333,876	294,766
投資活動によるキャッシュ・フロー	279,725	641,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	1,000,000
配当金の支払額	151,448	151,487
その他	902	950
財務活動によるキャッシュ・フロー	152,350	1,152,437
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,589,085	1,085,711
現金及び現金同等物の期首残高	1,951,236	1,903,603
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 3,540,322	¹ 2,989,315

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更している。 これによる損益に与える影響は軽微である。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月20日)
受取手形裏書譲渡高	235,857千円	103,101千円

2 連結会計年度末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理している。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれている。

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月20日)
受取手形	56,086千円	- 千円

3 未成工事支出金等の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月20日)
未成工事支出金	1,524,635千円	1,436,069千円
材料貯蔵品	40,856千円	96,049千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)

当社グループの完成工事高は、契約により工事の完成引渡し第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期連結会計期間から第3四半期連結会計期間における完成工事高に比べ、第4四半期連結会計期間の完成工事高が著しく多くなるといった季節的変動がある。

2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
従業員給料手当	223,738千円	235,662千円
賞与引当金繰入額	45,306千円	50,746千円
退職給付費用	22,020千円	26,849千円
役員退職慰労引当金繰入額	14,615千円	8,766千円
貸倒引当金繰入額	5,841千円	33,698千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりである。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
現金預金勘定	3,836,022千円	3,316,815千円
預入期間が3か月を超える定期預金	295,700千円	327,500千円
現金及び現金同等物	3,540,322千円	2,989,315千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月15日 定時株主総会	普通株式	152,462	6	平成24年3月20日	平成24年6月18日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はない。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はない。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月14日 定時株主総会	普通株式	152,424	6	平成25年3月20日	平成25年6月17日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はない。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はない。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)及び
当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)

当社グループは設備工事業単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略している。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
1株当たり四半期純利益金額	2円00銭	2円34銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	50,844	59,360
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	50,844	59,360
普通株式の期中平均株式数(千株)	25,408	25,402

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項なし。

2 【その他】

該当事項なし。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月1日

株式会社 ヤマト
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 筆野 力 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 宮 一 行 男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヤマトの平成25年3月21日から平成26年3月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年6月21日から平成25年9月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年3月21日から平成25年9月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヤマト及び連結子会社の平成25年9月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管している。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていない。